

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月1日

【評価実施概要】

事業所番号	895400018		
法人名	(有)美野里メディカルサービス		
事業所名	グループホームもみじ		
所在地	銚田市紅葉1500-2 (電話) 0291-34-3510		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年5月13日	評価確定日	平成20年10月1日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者はできることを進んで行動しており、活気のある表情をしている。体操やレクリエーション等を通して、ユニット間で交流している。職員はケアに関する取り組みに熱心で、利用者に常に笑顔で優しく接し気を配っている。運営母体が医療法人なので医療面での協力が得やすく、相談しやすい関係を構築している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価の課題に具体的な改善が見られず、評価を活かして取り組むまでには至っていない。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者が職員からの意見をまとめており、全職員で自己評価を行い、理解するまでには至っていないので、全職員で自己評価に取り組み、それぞれの気づきを活すとともに、改善案に前向きに取り組むことが望まれる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は設置されたがまだ会議が開催されていないので、早期に開催することが望まれる。 運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、ホームへの理解と協力を求めるとともに、地域と連携を図るなどサービス向上に活かす取り組みが望まれる。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 意見箱を設置しているが、家族の利用実績はない。 家族からの意見や要望を聞く仕組みや雰囲気づくりまでには至っていない。 家族会の発足や無記名のアンケート等により、家族が意見を出しやすいよう工夫や配慮が望まれる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の中学生の職場体験や演芸ボランティアの受け入れ、納涼祭に地域の子供たちを招待して利用者とともに楽しむなど、地域の人々との交流に努めている。

【情報提供票より】(平成20年4月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 8人, 非常勤 4人, 常勤換算 8.3人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨平屋	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,500 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成20年4月14日現在)

利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	6	要介護2	5
要介護3	5	要介護4	2
要介護5		要支援2	
年齢	平均 78.5 歳	最低 60 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美野里病院	長谷川歯科医院
---------	-------	---------

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念はあるが、事業所独自の理念をつくるまでには至っていない。	○	地域密着型サービスとして何が大切かを考え、事業所独自の理念をつくることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、「やさしく・しんせつ・ていねいに」の理念をミーティング時に復唱してケアの実践に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の中学生の職場体験や演芸ボランティアの受け入れ、納涼祭に地域の子供たちを招待して利用者とともに楽しむなど、地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の課題に具体的な改善が見られず、評価を活かした取り組みまでには至っていない。 自己評価を一部の職員で行っている。	○	全職員で自己評価に取り組み、それぞれの気づきを活かすとともに、改善案に前向きに取り組むことが望まれる。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催予定はあるが、今までに運営推進会議を開催するまでには至っていない。	○	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、委員にホームへの理解と協力を求めるとともに、地域と連携を図るなどサービスの質の向上に活かす取り組みが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者から情報提供等はあるが、事業所はそれらを活かす取り組みや相談をするまでには至っていない。	○	市の担当者と連絡を密にし、情報を十分活用してサービスの質の向上に活かすことが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時等に利用者の暮らしぶりを伝えているが、定期的には行っていない。	○	利用者の日頃の様子や行事案内、報告等を家族に定期的に伝えられるよう、ホーム便りの発行を検討することが望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが、家族からの利用実績はない。 家族からの意見や要望を聞く仕組みや雰囲気づくりまでには至っていない。	○	家族会の発足や無記名のアンケート等により、家族が意見を出しやすいよう工夫や配慮が望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間での職員異動はあるが、日常的に交流をもち利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じた研修計画がなく、研修の情報提供が不足している。	○	職員の段階に応じた研修計画をたてるとともに研修の情報提供を行い、全職員がスキルアップできるよう検討が望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入し、研修会等には参加しているが、同業者等と交流するまでには至っていない。	○	地域の同業者と交流する機会をもち、意見交換や相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みが望まれる。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用予定者にホーム見学や体験宿泊等をしてもらい、馴染んでからの利用には至っていない。	○	利用者の不穏状態を軽減するためにも、利用者が安心して納得したうえで利用開始となるよう、家族等と十分に話し合うことを期待する。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の得意とすることを教えてもらったり、日常的な生活の知恵を学ぶなど家族のように喜怒哀楽をともにして過ごしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々一緒に過ごしながら、利用者の思いや希望の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるよう利用者や家族、必要な関係者と話し合い、介護計画の作成に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は短期は3ヶ月、長期は6ヶ月と期間を定め見直している。 状態に変化があった場合は期間前でも関係者で話し合い、現状に即した見直しをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じて、通院介助等必要な支援を柔軟に対応している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	運営母体が病院なので相談しやすい関係を構築し、いつでも適切な医療が受けられる体制となっている。 利用者や家族が希望する医療機関での受診も支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族やかかりつけ医と連絡を密にし、職員間で情報を共有できるよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを大切にした対応をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしているが、入浴や外出支援等は職員側の決まりや都合を優先している。	○	一人ひとりの思いや希望を大切にした支援ができるよう検討が望まれる。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は一緒に食事や片付けをしているが、楽しく和やかな雰囲気づくりをするまでには至っていない。	○	楽しく食事ができる雰囲気づくりを期待する。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回、午前中に入浴と決まっており、一人ひとりの希望やタイミングに合わせた支援には至っていない。	○	一人ひとりの希望やタイミングに合わせた入浴支援ができるよう検討することが望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後片付け、洗濯物たたみ等の役割や切り絵、モザイク等の楽しみごとなど、張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺の散歩をすることもあるが、一人ひとりのその日の希望にそった外出支援をするまでには至っていない。	○	一人ひとりの希望にそった外出支援ばかりではなく、利用者全体で外出する回数を増やす等、戸外に出かける工夫の検討が望まれる。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の安全のため、玄関は施錠している。	○	利用者が中庭に自由に出られるよう、工夫と配慮が望まれる。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導のもと、避難訓練等をしているが、地域の人々への協力依頼、非常食等の備蓄をするまでには至っていない。	○	地域の人々への協力依頼や非常食等の備蓄、救急救命の研修等災害対策への検討が望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの取れた食事で、一人ひとりの状態に応じた盛り付けに工夫し、摂取量を記録しているが水分量を記録するまでには至っていない。	○	水分量も記録することが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間に温度計や湿度計を設置し、適切な温湿度に配慮している。 テレビを観たり、利用者同士で会話を楽めるよう長いすを設置している。 和室は利用者が集い、居心地よく過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物品の持込は少ないが、神棚や位牌、家族の写真、本人手作りの作品等を飾り、安心して過ごせるよう配慮している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。